

平成30年度(2018年度)

管理事業名	総合運動場事業			総合計画の体系	第4章 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 第3節 スポーツに親しめるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費 (目) 38 総合運動場費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室		
予算大事業名	総合運動場管理事業				
	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
<b>事業の目的と概要</b> 指定管理者制度において、総合運動場の管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
施設利用者数、目標利用者数 128,558人	人	116,804	124,263	127,259	個人使用・専用使用・大会等の利用者数
総合運動場使用料収入額	千円	6,518	7,251	7,327	使用料収入決算額
成果の説明	平成28年から施設使用料の改定により、専用使用料は引き下げとなり、個人使用においては利用区分をなくし、開場時間のなかで低料金で、いつでも利用できる時間制に変更しました。 平成30年度の利用者数は、平成29年度比2,996人(約2.4%)、平成28年度比10,455人(約9%)増加しました。 また使用料収入は、平成29年度比76千円(約1%)、平成28年度比809千円(約12.4%)増加しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
<b>使用料及び手数料</b>	<b>6,518</b>	<b>7,251</b>	<b>7,327</b>	<b>76</b>
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	446	558	695	138
経常収入 小計(a)	6,964	7,809	8,022	214
<b>給与関係費</b>	<b>6,230</b>	<b>4,493</b>	<b>7,875</b>	<b>3,381</b>
<b>物件費</b>	<b>93,989</b>	<b>89,857</b>	<b>108,531</b>	<b>18,673</b>
維持補修費	2,344	1,336	-	△1,336
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	63	15	2	△13
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	105,605	105,605	106,735	1,131
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	927	251	751	500
退職手当引当金繰入額	4,626	△2,058	3,756	5,813
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	213,784	199,499	227,649	28,150
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△206,820	△191,690	△219,627	△27,936
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	0	-	△0
固定資産除売却損	-	0	-	△0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	0	-	△0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	△0	-	0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△206,820	△191,690	△219,627	△27,936
一般財源充当額	96,446	106,171	105,954	△217
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△110,374	△85,519	△113,673	△28,153

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	使用料収入額 7,327千円
給与関係費	職員人件費 7,875千円
物件費	指定管理委託料 89,515千円 建築物・建築設備定期点検委託業務 1,070千円 改修工事実施設計委託料 14,094千円 備品購入費 3,030千円 樹木剪定委託料 822千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	6,964	7,809	8,022	214
行政サービス活動支出	103,410	97,022	117,390	20,369
行政サービス活動収支差額	△96,446	△89,213	△109,368	△20,155
投資活動収入	-	-	2,614	2,614
投資活動支出	-	16,958	-	△16,958
投資活動収支差額	-	△16,958	2,614	19,572
財務活動収入	-	-	800	800
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	800	800
収支差額 合計	△96,446	△106,171	△105,954	217
一般財源充当額	96,446	106,171	105,954	△217
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成28年度	116,804人	1,830円	総合運動場の利用者1人あたり、1,789円のコストがかかっています。
	平成29年度	124,263人	1,605円	
	平成30年度	127,259人	1,789円	
開場1日あたりのコスト	平成28年度	359日	595,499円	総合運動場の1日あたり、634,120円のコストがかかっています。
	平成29年度	359日	555,708円	
	平成30年度	359日	634,120円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	251	751	500
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	251	751	500
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	11,810,462	11,703,727	△106,735	その他流動負債	-	-	-
土地	9,396,024	9,396,024	-	固定負債	3,956	7,780	3,824
建物・工作物	2,414,438	2,307,703	△106,735	地方債	-	800	800
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	3,956	6,980	3,024
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	4,207	8,531	4,324
建物・工作物	-	-	-	純資産	11,823,685	11,712,626	△111,059
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	17,430	17,430	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	11,827,892	11,721,157	△106,735
資産の部合計	11,827,892	11,721,157	△106,735	負債及び純資産の部合計	11,827,892	11,721,157	△106,735

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

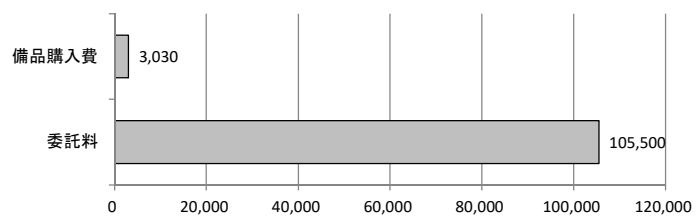
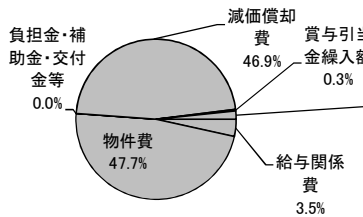
事業従事人数	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
12,381	1.05人				12,381
給与関係費等	12,381千円				
内、時間外勤務手当	390千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	総合運動場
建物・工作物	減価償却による減
重要物品	絵画3点

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立総合運動場
取得年月日	平成6年(1994年)5月15日(供用開始)
建物・工作物の取得価額	4,940,148 千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,632,445 千円
利用料金収入	7,327 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率	0.0	0.0	-	0.0
施設老朽化比率	49.2	51.1	53.3	2.2
受益者負担比率	3.0	3.6	3.2	△0.4
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	93.3	93.1	90.3	△2.8
経常費用対公共資産比率	4.3	4.0	4.6	0.6

[参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%]

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

既存施設の老朽化が53.3%と2.2ポイント進行しました。コスト全体の47.7%を物件費が占め、そのうちの約89.5%を指定管理委託料(94,438,692円)が占めています。また、減価償却費がコスト全体の46.9%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

総合運動場は、平成23年度より指定管理者制度を導入しています。平成28年度から5年間、効率的かつ効果的な管理を図るため、吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービスグループを新しい指定管理者として管理運営を行っており、指定管理者により券売機を設置することで、受付方法の簡素化を行い、市民の利便性の向上を図り大変喜ばれました。平成30年度にトレーニングマシン(2,614千円)4台を更新し、トレーニング室の充実を図るとともに、低料金での利用料により、利便性が向上し、利用者は増加傾向にあります。また、老朽化の著しいフィールドやトラックの改修に向けて、総合運動場改修工事実施設計委託(14,094千円)を行いました。令和元年度に、トラック(全天候型舗装)及びフィールド(人工芝)への改修工事(建築工事524,491千円・機械設備3,059千円・電気設備工事27,648千円)、管理棟空調設備更新工事(24,618千円)を行う予定です。今後、効率的、有効的な活用ができるようハード面・ソフト面の両面から検討していく必要性があります。